NPO 法人バランス 21

堂谷津の里　自然だより　　2022年　3月

長かった冬からようやく解き放され、一気に春めいてきました。生きものたちはそれぞれに春を知り、一斉に動き出しそうな気配です。時折ウグイスのさえずりが聞こえます。アカガエルはオタマジャクシになりました。私たちもたくさん日を浴び深呼吸、心地よさを満喫、里山を楽しみましょう。

春の堂谷津の里　花のにぎわいが広がります。

アオイスミレ

タチツボスミレ

ニリンソウ

シュンラン

コブシ

アカネスミレ

マルバスミレ

フデリンドウ

ホタルカズラ

ニワトコ

＜季節メモ＞　テントウムシ

冬でも暖かな日に草むらでテントウムシに出会うことがあります。捕えようとするとひっくり返って死んだふりをし、足の関節から苦い汁を出して身を守ります。鮮やかで目立つ色は「おいしくないよ！」の注意信号です。

ナナホシテントウ

ナミテントウ

７つの黒い紋があるナナホシテントウ。黒い紋が無いものから19 個までいろいろあるナミテントウ。幼虫も成虫も食べ物は、アブラムシ。アブラムシは植物の汁を吸い、枯らしてしまうので“害虫”、その虫を食べるテントウムシは“益虫”と言われます。

ニジュウヤホシテントウ

ナス科の植物を食べる畑の“害虫”ニジュウヤホシテントウ。名前の通り、28 個の黒紋がついています。

テントウムシは、茎や葉のてっぺんまで登って飛び立つ様子が太陽に向かって飛んでいくように見えることから天道虫。幸せのお告げ、縁起が良いとも。　　写真・編集・畫間

春しか見られない昆虫！

ミヤマセセリ

テングチョウ

ビロードツリアブ

コガタルリハムシ

オタマジャクシになりました！

卵塊

ニホンアカガエル